

国際司法裁判所(ICJ)は23日、各國には気候変動の「緊急(きんきゅう)かつ存亡に関わる脅威(きょうい)」に対処する義務があるとの勧告的意見を出した。

① トランプ関税より怖い——それは『食糧危機』

「店頭から食品が消える日」は SF ではない。

それは現実に、いつ・どこで始まてもおかしくない。

■ 原因は“人類の活動”が招いた環境変化

▼ 地球温暖化・気候変動

- 海水温の上昇 → 台風・豪雨・干ばつの激化
- 害虫の増加 → 農作物の被害拡大
- ミツバチの減少 → 受粉できず野菜や果物が育たない

▼ 地下水の枯渇

- 世界中で帯水層が限界に(米国西部・インド・中東など)
- 農業用水の不足 → 穀物・野菜の大幅減産

▼ 土壌の危機

- 土壤流出と塩害 → 耕作地が砂漠化
- 化学物質汚染 → 土の“命”が消える

▼ マイクロプラスチック

- 海洋・土壤汚染 → 水産物や農作物への影響

■ これはトランプ関税や感染症以上の「人類の危機」

- 食料価格の高騰
- 国家間の争奪戦・輸出規制
- 食料自給率の低い国ほど深刻な打撃

『私たちに今、問われているのは

「どこから輸入するか」ではなく、
「どう未来の食を守るか」